



facebook

「F5の導入で実現した先進的な認証プロセスは、私たちのユーザと当社のビジネスをおびやかす膨大なリスクを排除しました」

Facebook コーポレートITインフラストラクチャチーム  
サイモン・ブラックスティン氏

## Facebook、F5ソリューションの採用により セキュアなリモートアクセスと Citrix XenAppアプリケーションの高速化を実現

世界最大のソーシャル・ネットワーキング・サイトである Facebook は、自社のリモート・アクセス・ポータルと Citrix XenApp 仮想アプリケーション環境がネットワークへの侵入やデータ窃盗の経路になることを防ぎつつ、高速で信頼できる接続性とパフォーマンスを提供するという課題を持っていました。

XenApp と緊密な親和性を持ち、独自の 3 要素認証を提供する F5 のソリューションを導入したことで、社外にいる社員、ベンダー、コンサルタント、パートナーが、ユーザの個人情報を危険にさらすことなく、アプリケーションや Web サービスに高速に確実に接続できるようになりました。

### ビジネス上の課題

Facebook の IT 部門では、ベンダーや、コンサルタント、パートナーが Citrix XenApp 経由で社内アプリケーションにアクセスすることを許可しています。同部門では、XenApp 仮想アプリケーション環境のパフォーマンスと安定性を最適化すると同時に、リモート・アクセス・ポータルのセキュリティの強化を図りたいと考えていました。Facebook のコーポレート IT インフラストラクチャチームのサイモン・ブラックスティン氏は次のように述べています。「Facebook は攻撃者にとって大きなターゲットです。ですから、リモート・アクセス・ポータルや社内アプリケーションに接続してくる全てのユーザを確実に把握できるようにしておかなければなりません」

Facebook の既存の仮想プライベート・ネットワーク (VPN) と 2 要素認証では、この要件を満たすことはできませんでした。ブラックスティン氏は次のように語っています。「ユーザを把握した上で、アクセスを制限するツールとして VPN を利用するのは無理がありました。Citrix や他のベンダーのものよりもさらに優れた、リモートアクセスと認証のためのソリューションが必要でした」。Facebook が調査を行ったところ、多くのソリューションがログインパスワードと証明書の有効性を個別に認証できるようになっているものの、それらが同じユーザのものかどうかを確認することはできないことが明らかになりました。Facebook は、ポータルユーザが有効な IP アドレスからログ

## Overview

### 業種

メディア & コンテンツ

### 課題

- ・社内アプリケーションへの高速で信頼できるリモートアクセスの提供
- ・リモート・アクセス・ポータルの不正アクセスからの保護
- ・新規パートナーの迅速かつ安全なオンボーディング

### ソリューション

- ・BIG-IP® Local Traffic Manager™
- ・BIG-IP® Access Policy Manager™

### メリット

- ・XenApp 環境の運用管理の簡素化
- ・高速で信頼できるリモート・アプリケーション・アクセスの提供
- ・高度なユーザ認証の提供
- ・新しいビジネスパートナーのオンボーディングの迅速化

インしたことを確認するための第3の認証を取り入れたいと考えましたが、このような機能を備えたアイデンティティ・ソリューションはなかなか見つかりませんでした。「Citrix XenApp環境にスムーズに統合でき、個々のサービスへのユーザアクセスの細かい制御を可能にしてくれるソリューションを求めています」とブラックステイン氏は話します。

最終的に、Facebookが必要としたのは、IT部門とユーザの両方にとって使いやすいソリューションでした。「Facebookは動きの早い企業です。パートナーやコンサルタントをすばやくオンボーディングし、すぐに仕事に取り掛かれるようにする必要があります。よって、設定の手間がかからず、できるだけ使いやすいソリューションが必要でした」とブラックステイン氏は説明します。

## ソリューション

アプリケーション・デリバリー、アイデンティティ、セキュリティに関する様々なソリューションを調査し、最終的にFacebookが選んだのは、BIG-IP Local Traffic Manager (LTM) 搭載のF5 BIG-IP 8900 (クラスタ構成) 3組と、BIG-IP LTMとBIG-IP Access Policy Manager (APM) を搭載したBIG-IP 3900ペア1組でした。このソリューションはFacebookのリモートアクセス用ユーザ & パートナー・ポータルの方前に設置されました。ここでXenAppアプリケーションのパフォーマンス、拡張性、信頼性を最適化しつつ、ユーザのログイン情報を一意の証明書および発信元のIPアドレスと照合するF5独自の3要素認証を行います。また、ユーザのWebサービスへのアクセスの細かい制御にも対応できるようになっています。

インストールのしやすさ、Citrix XenAppとの緊密な統合、強力なiRuleスクリプト言語といったF5 BIG-IPソリューションの特徴を見て、ブラックステイン氏は採用を決めました。「APMを搭載したBIG-IP LTMと他社のソリューションの比較となりましたが、BIG-IPはあらゆる点でもう一方のベンダーより勝っていました」

ブラックステイン氏によれば、導入はスムーズに進み、わずか数週間で完了しました。「導入は驚くほど簡単でした。XenAppへの統合も難なく終わり、認証に必要な、高度にカスタマ

「F5はXenAppの変更にすばやく対応しますし、両社共、完璧なサポートを提供してくれています」

イズされたソリューションを構築することができました。スクリプティングの知識の多少に関係なく、誰でも、高度にカスタマイズされたiRuleを記述できます。またDevCentral™ Webサイトでは数千人のユーザから寄せられたiRuleスクリプト言語のサンプルが公開されていて、大変役に立ちます」

ブラックステイン氏はまた、F5と一緒に仕事がいしやすいくらい相手だと感じたと話します。「多くのベンダーは自社のソリューションについて『フリーサイズ』という考え方のもと仕事していますが、F5はそうではありませんでした。私達がニーズをF5に伝えると彼らはこちらが何を必要とし、またなぜそれが必要なかを理解してくれ、構築に協力してくれたのです」。またFacebookは、iRuleを利用して、ソリューションをできるだけ使いやすくするためにポータル・インターフェイスのカスタマイズと合理化を行いました。

## メリット

BIG-IPを導入したことで、Facebookには、XenApp環境との確実な統合、強力な認証とセキュリティ、社外コンサルタント向けの簡単な設定とアクセスといった多数のビジネスメリットがもたらされました。

### XenApp環境の運用管理の簡素化

BIG-IPソリューションはXenApp環境と緊密に統合されているため、Facebookは両方のソリューションに対して中間の位置から簡単にセキュリティポリシーを適用することができます。ブラックステイン氏は次のように述べています。「BIG-IPとXenAppをスムーズに連動させることは難しいかもしれない2つのベンダーとやり取りしなければならないため、必要なレベルのサポートは期待できないのでは、といった懸念を表す声も一部から聞かれまし

た。しかし、それは大間違いでした。F5のソリューションとXenAppはスムーズに連携しています。XenAppに変更があればF5はすぐに対応しますし、両社共、完璧なサポートを提供してくれています。その結果、ポータルのユーザはアプリケーションにすばやく簡単かつ確実にアクセスできるようになりました。」

### 信頼性の高いアプリケーション・アクセスを保証

BIG-IP LTMのトラフィック管理とサーバヘルスチェックの機能を活用することで、Facebookではアプリケーションのパフォーマンスと信頼性を向上させることに成功しています。ブラックステイン氏はこう説明します。「このポータルは弊社にとってミッションクリティカルなサービスです。ベンダーそしてコールセンターの多くは様々な地域とタイムゾーンに分散しています。つまり、私達が眠っている間にも働いている人達がいるのです。このことは、たとえ夜間やメンテナンス時、あるいは停電発生時にも、決してポータルを止めてはならないことを意味しています」。マシンの起動・停止時にF5のソリューションにより継続的なアプリケーション・アクセスが確保されるのも、ブラックステイン氏のチームにメリットをもたらしています。「Citrixはアプリケーションの仮想化というすばらしい仕事をしています。しかしF5は、そのアプリケーションをネットワークを使ってすばやく確実に配信するというさらに素晴らしいことをやっているのです」

### リモート・アクセス・ポータルのセキュリティの向上

BIG-IP APMとカスタマイズ可能なiRuleにより提供される強力な3要素認証を使うことで、Facebookでは他のソリューションから得られるものよりもはるかに高い水準のセキュリティをリモート・アクセス・ポータルにおいて実現しています。ブラックステイン氏はこう話します。「F5を使うことで実現した高度な認証プロセスは、弊社のユーザとビジネスをおびやかす膨大なリスクの解消に役立っています。ログイン情報を証明書と発信元IPアドレスと照らし合わせて記録的な速さで照合できるため、今ではネットワーク上のポータルユーザを把握できないということはありません。F5の導入で適切なWebサービスの利用法がよく分かるようになりました」

## 新しいパートナーとコンサルタントの迅速な オンボーディング

「特定のサービスに対する緊急のニーズにより、プロジェクトをアウトソースするというのがよくあります。つまり、セキュアなアクセスによりベンダーとただちに連絡を取る必要があるわけです。言うまでもないことですが、その際、相手に必要以上のアクセス権を与えないようにしなければなりません」とブラックステイン氏は説明します。Facebook は、BIG-IP APM と iRule を利用して、すばやく簡単に新しいパートナーやコンサルタントと連絡を取り、適切なレベルのアクセス権を付与する方法を開発しました。

「全体的に見て、F5 のソリューションはプロキシング、ロードバランシング、強力な認証を可能にする他にはない機能を備えており、弊社が必要とするセキュリティのカスタマイズにも対応します」とブラックステイン氏は言います。

BIG-IP の導入により満足のいく結果が得られたとして、Facebook では XenApp 用に F5 のカスタマイズ可能な Web インターフェイスを活用して、アプリケーション・アクセスのさらなる改良と合理化を図る計画です。ブラックステイン氏は次のように説明します。「F5 ソリューションの利点は、Citrix の Web インターフェイスの制約を受けないカスタムのポータルを構築できることです。このポータルは必要に応じて自由にカスタマイズできるようになっています」

Facebook では、社内のメッセージング・インフラストラクチャのサポート、さらには業務アプリケーションへのアクセスに影響を与えることなく新しいデータセンターにアプリケーションを集約する戦略の一環として、BIG-IP Global Traffic Manager™ (GTM) を導入することも計画しています。



## F5 ネットワークスジャパン合同会社

東京本社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階  
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201  
<http://f5.com/jp>

西日本支社  
〒530-0012 大阪市北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 16 階  
TEL 06-7222-3731 FAX 06-7222-3838